

取組7 交通基盤の充実

取組の評価

3.5 概ね順調

< 取組7の基本方針 >

1 JR袋井駅舎及び周辺地区の整備

2 計画的な道路補修による長寿命化

3 幹線道路及び生活道路の計画的な整備

4 利便性の高い公共交通の実現

【取組の目的】 安全で円滑な道路網の整備と公共交通の確保を図り、だれもが快適に移動できる利便性の高い交通ネットワークを構築します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状

1 社会の動向

- ◎ 急速に進む高齢化の進行や環境問題への関心が高まり、誰もが安全で安心して快適に移動できるよう、過度に自動車に依存しない交通体系の検討や公共交通の利用促進など、交通政策の転換が求められている。
- ◎ 道路整備事業については、安全性を確保するために、ライフサイクルコストを考え、早期補修を計画的に行い、道路の長寿命化を図ることが求められている。
- ◎ 平成24年4月の新東名高速道路の開通により、人・物・情報の新しい時代に対応した道路ネットワークの構築や平成25年5月に開院を予定している中東遠総合医療センターへの利便性の向上など、実情にあった新しい広域的な道路整備が求められている。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 中東遠総合医療センターの開院に伴い、アクセス路線の構築とアクセス路線に接続するよう既存の自主運行バスの変更が必要であり、円滑な運行が可能となるよう、運行事業者の決定、国土交通省への届け出等を進めている。
- ◎ 平成23年11月に実施した「市民が感じる満足・不満足度調査」では、「道路の整備」について、「とても不満」と「やや不満」と回答した方を合わせると、「46.8%」となっており、調査項目の中でも上位であり、市民に満足いく道路整備が出来ていないという結果であった。
- ◎ J R袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業については、仮駅舎などの仮設物及び本設物の詳細設計に取り組むとともに、駅南北工事ヤード整備（H23～24）を行っている。

『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】

評価結果の平均値（A）

3.3

<評価基準> 4：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 3：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 < 0％ 2：達成率 < 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 1：達成率 < 100％・前年比伸び率 < 0％

番 号	指 標 名	項 目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	要舗装繕箇所の整備率【％】	目 標 値	－	43.3	43.3	52.9	62.5	72.1	88.0
		実 績 値	21.0	33.0	36.8				
		達成率 伸び率	－	76.2	57.1	84.9	11.5		
		評 価	－	2	2				
2	「事業化準備制度」の事業実施数(幹線道路・生活道路)【事業】	目 標 値	－	24	24	27	29	31	32
		実 績 値	14	19	24				
		達成率 伸び率	－	79.1	35.7	100.0	26.3		
		評 価	－	2	4				
3	道路整備10箇年計画道路の整備率【％】	目 標 値	－	50.2	50.2	50.5	50.7	51.2	51.9
		実 績 値	49.5	50.0	50.3				
		達成率 伸び率	－	99.6	1.0	100.1	0.5		
		評 価	－	2	4				
4		目 標 値							
		実 績 値							
		達成率 伸び率							
		評 価							

【指標に影響を与えた主な要因】

- ◎ 道路特定財源の一般財源化による道路財源の縮小、社会資本の老朽化による維持管理の増加など、道路整備に充当できる財源が限られてきている状況にある。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業及び周辺地区の整備により、駅の利便性が向上するとともに、鉄道で分断された駅南北の連絡が強化され、魅力ある中心市街地が形成されることになる。
- ◎ 3級市道の整備については、自治会要望に基づき、現地調査と事業評価を行い、優先順位をつけて事業を実施している。また、「協働によるみちづくり」事業により、関係者の合意を得て着手している。

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果

1 主要事業の評価

番号	主 要 事 業 名	H23 事業費 【千円】	事業評価表の評価結果			
			有効性	効率性	廃止の影響	※印は3か年推進計画事業
1	※（都）西通新池線改築事業（第三工区）	51,167	4	4	4	
2	※（都）南口駅前線（駅広）改築事業	41,478	4	4	4	
3	※（都）南口駅前線改築事業	50,093	4	4	4	
4	※（都）駅南循環線新設事業	31,502	4	4	4	
5	※（都）山梨中央通り線新設事業	2,000	4	4	4	
6	※（都）上久能山科上線改築事業（第二工区）	9,000	4	4	4	
7	※（都）川井山梨線改築事業	2,000	4	4	4	
8	※（都）袋井駅森線改築事業	2,405	4	4	4	
9	※（都）諸井山の手線改築事業	0	4	4	4	
10	※（都）袋井駅南北自由通路新設事業	73,903	4	4	4	
11	※市道東同笠油山線改築事業（第一工区）	142,115	4	4	4	
12	※市道掛之上祢宜弥線改築事業	144,931	4	4	4	
13	※市道上久能鷲巣線新設事業	66,024	4	4	4	
14	※市道湊中新田線改築事業	74,826	4	4	4	
15	※市道東同笠油山線改築事業（第二工区）	50,032	4	4	4	
16	※3級市道整備事業	41,226	4	4	4	
17	※「クリーンセンター等関連」3級市道整備事業	23,364	4	4	4	
18	※「田原集落整備」3級市道整備事業	12,277	4	4	4	
19	※「サンサーラいごおか関連」3級市道整備事業	31,050	4	4	4	
20	※道路舗装補修事業	19,677	4	4	4	
21	※道路橋梁維持管理事業（維持修繕）	199,243	4	4	4	
22	※橋梁長寿命化修繕計画策定事業	6,510	4	4	4	
23	生活バス路線確保対策事業	25,955	3	3	4	
24	天竜浜名湖鉄道運営支援事業	867	2	3	4	
25	自主運行バス運行事業	43,203	2	2	4	
評価結果の平均値（B）		3.9	3.8	3.8	4.0	

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 3.3

番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	4					◎ JR袋井駅舎及び周辺地区整備は、都市拠点として魅力ある都市の顔づくりを進めることにより、交通結節点として連絡強化と駅南方面からの利便性の向上が図られ有効である。 ◎ 舗装補修計画は早期発見・早期修繕により、安全性を確保し、長寿命化やライフサイクルコストの縮減が可能となり有効である。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	4					◎ 平成26年秋のJR袋井駅舎供用開始に伴い、駅周辺の整備事業も終盤にさしかかり、計画的に実施していく必要がある。 ◎ 新東名高速道路の開通に伴い、現東名高速道路とのダブルネットワーク化により、物流をはじめ防災・減災機能の強化のためにも、道路網の整備が必要である。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	2					◎ 計画的な道路補修による長寿命化については、限られた予算の中で、合理的・効果的に維持管理していく必要があり、安全で快適な道路維持のため、早期補修を実施していく必要がある。 ◎ 3級市道整備については、地元要望に対応し、合意が得られた路線より早期完了に向け、事業を推進していく。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <評価基準> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
3.5	概ね順調		◎ 新東名高速道路の開通により、新たな東西交通の動脈として、地域経済の活性化や防災力の強化など大きな効果が期待されているため、アクセス道路の整備を検討していく必要がある。
各評価結果の平均値			◎ 生活道路の整備については、沿道の利便性の向上や主要施設へのアクセス機能など、地域の実情に応じたきめ細かなニーズに対応した道路整備ができるよう、柔軟な事業展開が必要である。
取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）	◎ 袋井市道路整備10箇年計画では、本市の道路整備をとりまく環境の変化に対応するために見直し、新東名高速道路の開通による現東名高速道路とのアクセス道路や広域的な道路ネットワークの構築など、さらには、東日本大震災を踏まえた橋梁の耐震化や緊急輸送道路を強化していくこととしている。
3.3	3.9	3.3	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	JR袋井駅舎及び周辺地区の整備	継続推進 ➡	継続推進 ➡					JR袋井駅舎及び周辺地区整備などについて、地元説明会、回覧等による事前周知を徹底するとともに、工事期間中は、適切な交通誘導策を講じていくことが必要である。
2	計画的な道路補修による長寿命化	継続推進 ➡	継続推進 ➡					道路の適切な維持管理はもとより、平成21年度から23年度に行った橋梁点検の結果をもとに、既設橋梁の健全度の把握や管理水準、修繕等に係る費用の縮減に関する基本的な方針などを検討し、長寿命化修繕計画を策定していく。
3	幹線道路及び生活道路の計画的な整備	拡充 ↪	継続推進 ➡					道路の適切な維持管理はもとより、平成21年度から23年度に行った橋梁点検の結果をもとに、既設橋梁の健全度の把握や管理水準、修繕等に係る費用の縮減に関する基本的な方針などを検討し、長寿命化修繕計画を策定していく。
4	利便性の高い公共交通の実現	継続推進 ➡	継続推進 ➡					自動車を保有していない高齢者や障がい者などの交通弱者の移動手段の確保及び市内の交通空白地帯の解消を目指していくとともに、必要に応じて路線の改正など利用者が増加するよう事業展開をしていく。
5								
6								

【その他留意事項】

JR袋井駅が多く市民に親しまれる駅になるよう、市民アイデア（自由通路と南北出口の愛称公募など）について、検討していく必要がある。